

賛美 32 「キリエ・エレイソン」

キリエ・エレイソン、キリエ・エレイソン、
主よ、あわれみを。主よ、あわれみを。

キリエ・エレイソン。
主よ、あわれみ

聖書 使徒言行録 2:1~11

新約(新共同訳)P214~P215

1 五旬祭の日が来て、一同が一つになって集まっていると、2 突然、激しい風が吹いて来るような音が天から聞こえ、彼らが座っていた家中に響いた。3 そして、炎のような舌が分かれ分かれに現れ、一人一人の上にとどまった。4 すると、一同は聖霊に満たされ、「霊」が語るままに、ほかの国々の言葉で話した。5 さて、エルサレムには天下のあらゆる国から帰って来た、信心深いユダヤ人が住んでいたが、6 この物音に大勢の人が集まって来た。そして、だれもかれも、自分の故郷の言葉が話されているのを聞いて、あっけにとられてしまった。7 人々は驚き怪しんで言った。「話をしているこの人たちは、皆ガリラヤの人ではないか。8 どうしてわたしたちは、めいめいが生まれた故郷の言葉を聞くのだろうか。9 わたしたちの中には、パルティア、メディア、エラムからの者がおり、また、メソポタミア、ユダヤ、カパドキア、ポントス、アジア、10 フリギア、パンフィリア、エジプト、キレネに接するリビア地方などに住む者もいる。また、ローマから来て滞在中の者、11 ユダヤ人もいれば、ユダヤ教への改宗者もあり、クレタ、アラビアから来た者もいるのに、彼らがわたしたちの言葉で神の偉大な業を語っているのを聞こうとは。」

賛美 こども 94 「ふしぎなかぜが」

1. ふしぎなかぜが びゅうつ とふけば
2. ふしぎなかぜが びゅうつ とふけて
3. ふしぎなかぜが びゅうつ とふいて

なんだかな ゆうきが わいてくる
いろんなか まて つよめられ

イエスさまのおまもりが きつとあるよ
そのひからともだちに きつとなれる
かみさまのこどもに きつとなれる

それが せいいのは たらきです
それが きょうかいは じまりです
それが あたらし いまに ちです

しゅイエスの めぐみは あの かぜとともに
せかいの へいわも あの かぜとともに
わたしの いのちも あの かぜとともに

説教 「聖霊に背中を押されて」

賛美 406 「聖霊ゆたかに」

O Spirit of the living God
詞: James Montgomery, 1771-1854
GONFALON ROYAL
曲: Percy C. Buck, 1871-1947

1 せ い れ い ゆ た か に - めぐみ を も た - ら - す。
2 い の る む れ の う え - せ い れ い は く - だ - り
3 や み の な か - で さ え - せ い れ い は ひ - か - り
4 主 な る せ い れ い と - で あ う も の は - み - な
5 せ い れ い を - う け て - イエスを 主 と し - ん - じ

かみにせをむけてあゆむひとにさえ。
わかいのこことばをかた-り-だすきせき。
こんらのなかであゆみ-をみちびく。
いしこのころさえみやく-う-ちはじめる。
十字架のしやう.りをつた-え-よ、せかいに。

(おわりに)
ハ - レ ル ヤ。

- 1 聖霊ゆたかに 恵みをもたらす。 3 闇の中でさえ 聖霊は光り
神に背を向けて 歩む人にさえ。 混乱の中で 歩みを導く。
- 2 祈る群れの上 聖霊はくんだり 4 主なる聖霊と 出会うものは皆
和解の言葉を 語り出す奇跡。 石の心さえ 脈打ち始める。
- 5 聖霊を受けて イエスを主と信じ
十字架の勝利を 伝えよ、世界に。
ハレルヤ。

派遣

司式者 主は言われます。
「わたしは誰を遣わすべきか。」

会衆 わたしがここにおります。
わたしを遣わして下さい。

祝祷

アーメン



後奏 「フーガ 変ホ長調」(J.S.バッハ)

司式 光成 由樹
説教 向井 希夫牧師
奏楽 福原 之織
助餐 袁 紅、塩冶 みはる